



大阪科学・大学記者クラブ 各位
(同時資料提供先：大阪市政記者クラブ)

2019年8月23日
大阪市立大学

子どもに関わる社会課題の解決へ！

**「第13回 キッズデザイン賞」
大阪市立大学健康科学イノベーションセンターと
積水ハウス株式会社の共同研究が受賞へ**

大阪市立大学健康科学イノベーションセンターと積水ハウス株式会社が実施した共同研究の成果が、「第13回キッズデザイン賞」を受賞しました。

【受賞内容】

＜子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門＞
抗疲労効果のある勉強環境の研究※1

【概要】

キッズデザイン賞は、多様なステークホルダーとともに子どもの未来が持続的で明るいものであるように、「子どもたちが安全に暮らす」「子どもたちが感性や創造性豊かに育つ」「子どもを産み育てやすい社会をつくる」という目的を満たす、製品・空間・サービス・活動・研究の中から、子どもや子育てに関わる社会課題解決に取り組む優れた作品を顕彰するものです。

この度、大阪市立大学健康科学イノベーションセンター、理化学研究所健康生き生き羅針盤リサーチコンプレックス推進プログラム、積水ハウス株式会社が共同で応募した「抗疲労効果のある勉強環境の研究」が「子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門」を受賞しました。

【研究の概要】

・2016年に大阪市立大学と大阪市淀川区によって行われた約5,300名の小中学生を対象とした疲労の実態調査では、小学4年生から6年生の30%、中学1年生から2年生の46%が1ヶ月以上続く疲労状態にあり、子どもの疲労は深刻な状況となっています。

この問題の解決に寄与するため、大阪市立大学、理化学研究所、積水ハウス株式会社は「子どもが勉強しても疲れにくい環境」の研究に取り組みました。「木質インテリアの空間」と「立って勉強できるカウンター」という2つのアイデアに対し、それぞれ実際に子ども達に作業を行ってもらい、作業前後の疲労度を計測。その結果、自律神経機能や認知機能に対して影響が見られ、抗疲労効果があることを実証しました。

本研究で得られた知見を商品開発に活用すると共に、様々な製品分野で、これまで未踏の領域であった子どもの抗疲労研究の促進に貢献して参ります。

【本件の詳細について】

積水ハウス株式会社 ニュースリリース

http://www.sekisuihouse.co.jp/company/topics/topics_2019.html